取扱説明書

DAYTONA

NANOⅡ（ナノツー） スピードメーター

品番：78596

SPD

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●「保証書」は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取扱説明書内の注意事項は使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
■商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
※取扱説明書内の注意事項を守らずに本商品を使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましても、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。
●使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させ、お買い求めの販売店や弊社にご連絡ください。
●配線は結束バンド等でフレームにしっかりと固定してください。その際、ハンドルを操作に支障がないよう確認しながら取り付けてください。また組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。
●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。また、本商品は取り付け角度や天候の状況によってメーターが見えにくくなる場合があります。走行中に見えにくい場合でも非常に危険ですのでメーターを注視しないでください。
●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。

実施

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行なってください。また使用しない配線は必ず絶縁対策を行なってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。

感電注意

⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

●この商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。
●作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。
●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本体をエンジン周りなどの高温になる場所に設置しないでください。ケースが変形したり、故障の原因となります。
●①メーター本体を④メーター固定用ブラケットに貼り付ける際に液晶面を強く押さないでください。液晶が割れる恐れがあります。液晶以外のふちの部分を押さえて貼り付けてください。
●本体にガソリンやブレーキフルードが掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカルも使用しないでください。本体が変色する場合があります。

禁止

●本商品の分解や改造等は行なわないでください。防水性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。予めご了承ください。

分解禁止

■安全上のご注意■

●イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
●本商品は取り付けに⑭結線コネクターを使用します。正しく接続できていない場合、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を行ってください。
●本体は純正メーターの視認を邪魔しない位置で、運転に支障が無いよう取り付けてください。

実施

●本商品はＩＰＸ６相当の防水性能を備えておりますが、高圧洗浄器等の直接洗浄は行なわないでください。保護等級条件を超える水圧を受けた場合は内部に水が浸入する場合があります。
（ＩＰX6・・・あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない）

水ぬれ禁止

●組み付け作業には車体のサービスマニュアルと専門の知識が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付けは確実に行ってください。また、走行中ブラケットのネジ部等が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。
●エンジン周辺等、高温になる場所には装着しないで下さい。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃です。
●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動させたり、タイヤを回したりする作業がございます。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。
●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

その他

■取り付け条件■

●本商品は、電気式スピードメーターを純正採用している車両用ですが、別売のメーターギア変換アダプターを使用することで機械式スピードメーターを純正採用している車両（メーターギア＆ケーブルを使用する車両）に取り付けることが出来ます。

但し、メーターギア変換アダプターを使用した場合、NANOⅡギアポジションインジケーター（78595）との同時装着は出来ません。

※NANOⅡギアポジションインジケーターは機械式スピードメーターを採用している車両（メーターギア＆ケーブルを使用する車両）に対応していません。

●その他、以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。

・弱っているバッテリーを使用している場合。
※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。
・バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。
・交流 12V 車。※APE100/50（バッテリーレス車）、XR100M/50M、モンキーR/RT/BAJA など。
・点火信号，車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。
・車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから 0V-5V 交互パルス信号をピックアップできない場合。
※ 例）シャドウ系全モデルは純正電気式スピードメーター車ですが、0V-5V-12V という独自のパルス信号が採用されているため、本商品を使用できません。
・純正メーターユニット内にオートバイを制御するような回路が内蔵されている場合。
・注１）純正メーターを取り外すことによって、車速センサーへの電力供給が絶たれてしまう場合。
・注２）純正機械式スピードメーターを装着しているが、機械式スピードメーターケーブルの取付口が無い車両。※メーターギア変換アダプターが取り付けできません。（メーターギア変換アダプターは別売です。）
※上記、注１・２）の条件の場合、商品付属の⑩磁気検出式スピードセンサーと⑪マグネットボルト（M6）を使用して車速を検出できますが取り付けに加工が必要です。

※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によって取付できない場合もございます。予めご了承ください。

D1400-SPD-JP-001 2013/10/29

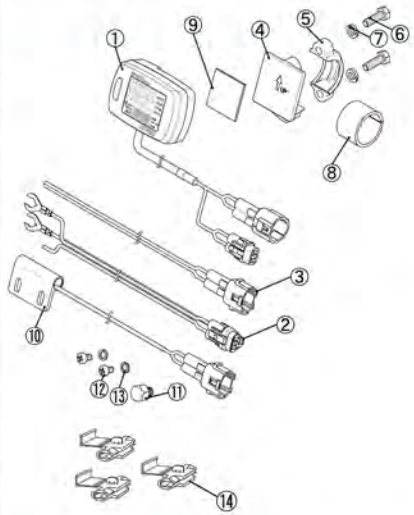
■使用上のご注意■

●純正スピードメーターユニットを取り外す場合、純正スピードメーターユニット内に警告ランプ等のインジケーターが内蔵されている場合には、インジケーターランプ等を移設してください。
●本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。これは商品の仕様であり、商品不良ではありませんので予めご了承ください。
●出荷時、液晶面に保護フィルムが貼ってあります。このフィルムをはがす際に液晶面にスジのようなものが入りますが異常ではありません。しばらく放置すればこのスジはなくなります。
●本商品は計測値に ± の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。予めご了承ください。
●本商品は高出力のＨＩＤや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。その他電装品の配線とは極力離して設置してください。
●液晶の性質上、一定の角度を超えると表示が見えにくくなります。角度を調節して見えやすい角度で取り付けを行ってください。

初期設定について
本商品は、車体にそのまま装着しただけでは正常に作動しません。車両にあわせてスピードセンサーの初期設定をすることで使用可能となります。取扱説明書の各種初期設定で入力を行なってからご使用ください。

構成部品

NO	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	メーター本体		1
②	電源ハーネス	1200mm	1
③	スピードセンサーハーネス	500mm	1
④	メーター固定用ブラケット（上）		1
⑤	メーター固定用ブラケット（下）		1
⑥	ブラケット用ボルト	M5x15	2
⑦	スプリングワッシャー	M5	2
⑧	ラバーバンド（φ22.2ハンドル用）		1
⑨	両面テープ		1
⑩	磁気検出式スピードセンサー		1
⑪	マグネットボルト	M6x7	1
⑫	なべ小ネジ	M4x7	2
⑬	スプリングワッシャー	M4	2
⑭	結線コネクター		3

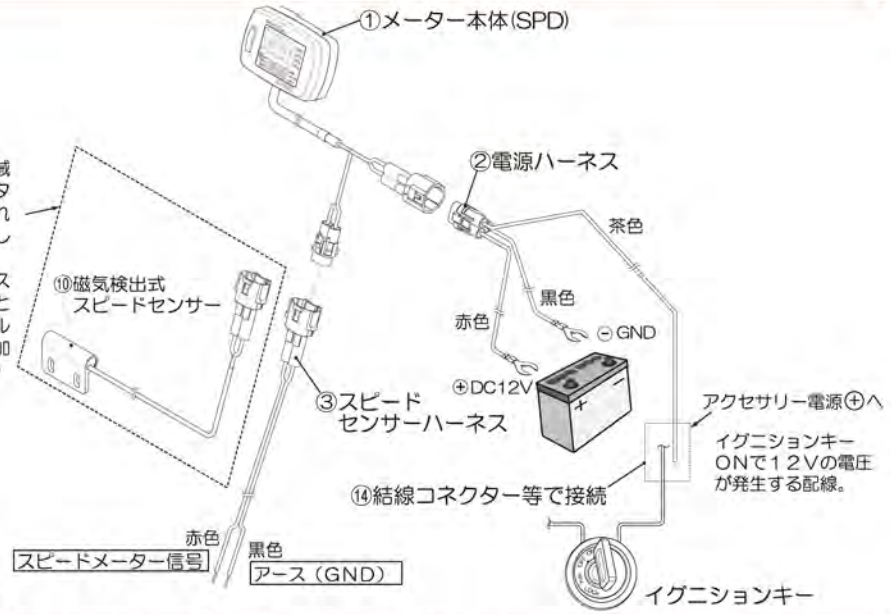


商品仕様

■作動電圧：直流９～16V
■寸法：H40×W60×D17.5mm
■表示レンジ：０－399ｋｍ/ｈ(０－250MPH)
■オドメーター：０－999,999ｋｍ（mile）
■トリップメーター：０－99,999.9ｋｍ(mile）デュアル表示（TRIP1,TRIP2 を切り替え表示）
■表示更新切り替え（0.16 秒／0.5 秒）
■最高速記憶機能
■時計（12h表示）（誤差：±115 秒／月）
■消費電流：約 20mA（待機時：0.1mA 以下）
■液晶：白色ＬＥＤバックライト

■配線図■

【図１】



参考配線色

配線色	赤色線(クワ型端子付)	茶色線	黒色線(クワ型端子付)	赤色線
接続場所	バッテリープラス⊕	アクセサリー電源⊕	バッテリーマイナス⊖	スピードメーター信号
HONDA	バッテリープラス⊕	黒/茶 or 桃/青	緑	桃/緑
YAMAHA	バッテリープラス⊕	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	白/黄 or 桃
SUZUKI	バッテリープラス⊕	橙/緑	黒/白	桃
KAWASAKI	バッテリープラス⊕	茶/白	黒/黄	桃 or 桃/青

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合もありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

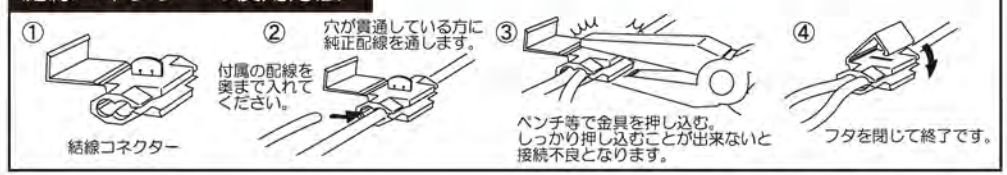
■取付方法■

●商品の取り付けには車体のサービスマニュアルと専門知識及び技術が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
●取り付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険ばかりか車両火災の原因にもなりかねますので必ず行ってください。
●作業を始める前に①メーター本体を配置したい場所に仮置きして配線の長さを確認します。

②電源ハーネスの取り付け

▼車体のアクセサリー電源（イグニションキーＯＮで１２Ｖを発生する配線）に②電源ハーネスの茶色線を付属の⑭結線コネクターを使用して接続します。【図１】（結線コネクター使用法は下図参照）
▼バッテリーのプラス側に②電源ハーネスの赤色線（クワ型端子付）を接続します。
▼バッテリーのマイナス側に②電源ハーネスの黒色線（クワ型端子付）を接続します。

結線コネクターの使用方法



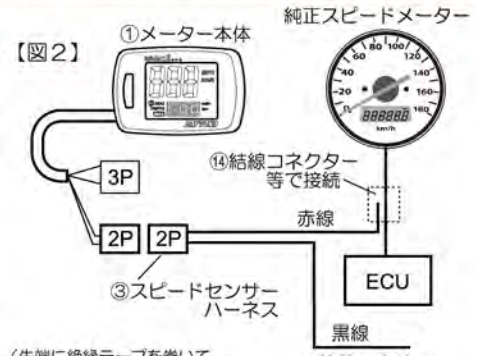
■取付方法■　～続き1

③スピードセンサーハーネスの取り付け

●純正スピードメーターが電気式の場合（図2）

▼③スピードセンサーハーネスの赤色線を車体側の純正スピードメーターからＥＣＵにつながる配線に⑭結線コネクターを使用して取り付けます。【図2】
黒色線は使用しませんので末端を絶縁処理して邪魔にならないようにまとめてください。
▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の２Ｐコネクターに接続します。（図6）
▼接続後、④⑤メーター固定用ブラケットの取り付けへ進みます。

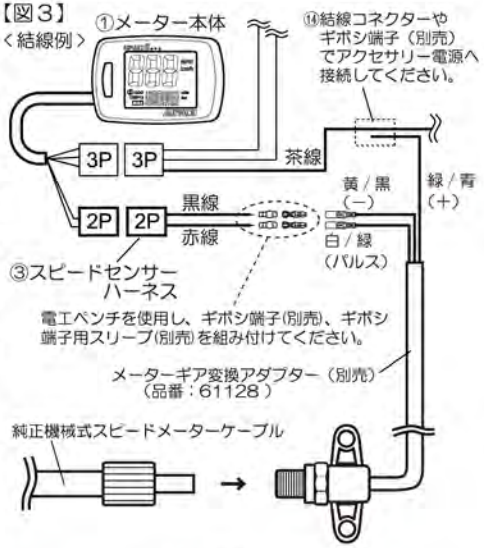
【図2】



●純正スピードメーターが機械式の場合（図３）

▼純正機械式スピードメーターケーブルにメーターギア変換アダプター（別売）を取り付けます。
▼③スピードセンサーハーネスの赤色線にギボシ端子（別売）を組み付けてメーターギア変換アダプターのパルス線（白／緑）に接続します。
▼黒色線も同様にギボシ端子（別売）を組み付けてメーターギア変換アダプターのマイナス（－）線（黄／黒）に接続します。
▼メーターギア変換アダプター（別売）のプラス（＋）線（緑／青）はアクセサリー電源（12V イグニションキーONで１２Ｖの電圧が発生する配線）に接続します。②電源ハーネスの茶色線、またはその他のアクセサリー電源に、⑭結線コネクターやギボシ端子（別売）を使用して接続します。
▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の２Ｐコネクターに接続します。（図6）
▼接続後、④⑤メーター固定用ブラケットの取り付けへ進みます。

【図3】



別売品

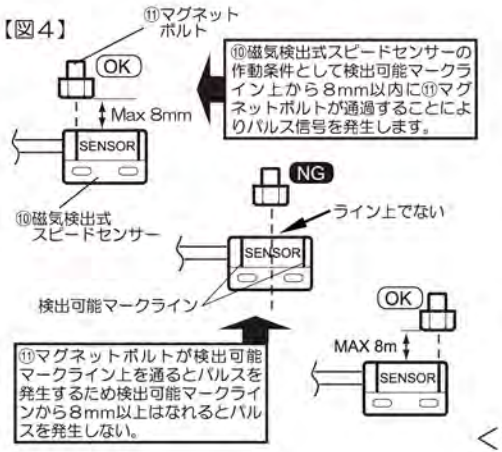
・ギボシ端子セット（CA/CB104型　5個入）	品番：61937	¥450（税抜き）
・メーターギア変換アダプター	品番：61128	¥5,600（税抜き）

●上記接続方法でスピードが認識できない場合

※電気式スピードメーターのパルス信号が読み取れなかったり、メーターギア変換アダプター（別売）が取り付け出来ない車両には、付属の⑩磁気検出式スピードセンサー&⑪マグネットボルトをご使用ください。ただし、車両によって設置場所が異なりますので、車両にあわせて取り付けステーの製作や加工が必要になります。
尚、車体への取り付けに関しまして、車両ごとに配置方法が異なりますので取り付けに関してのお問い合わせを頂いてもご回答いたしかねます。予めご了承願います。

○速度表示に関しての注意点
⑩磁気検出式スピードセンサー&⑪マグネットボルトを使用した場合、通常とは検出方法が異なるため、15ｋｍ/ｈ以下の表示は０ｋｍ/ｈと表示されます。（21インチホイール使用時）
メーターの仕様となりますので異常ではありません。

【図4】



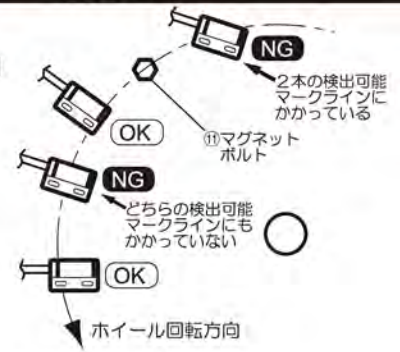
■取付方法■　～続き2

●⑩磁気検出式スピードセンサーの設置

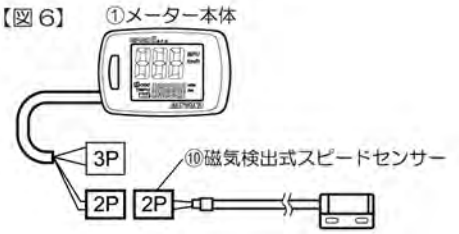
▼前後どちらかのホイールに⑪マグネットボルトを固定します。
※走行に支障が無いように確実に取り付けてください。
▼⑩磁気検出式スピードセンサーを図４,５の条件に合うようにスイングアームやフォークなどに固定します。
※車両に合わせてステー等を製作し、⑫なべ小ネジや⑬スプリングワッシャー等を利用して、走行に支障が無いように確実に取り付けてください。

▼接続が済んだらＨＩＤ等の高電圧配線を避けて取り回し、①メーター本体の２Ｐコネクターに接続します。（図6）

【図5】



【図6】

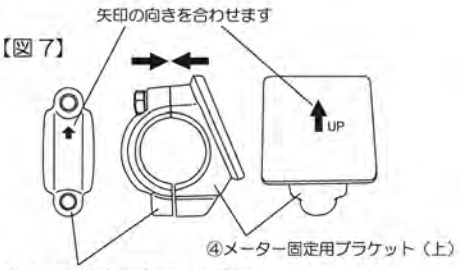


④⑤メーター固定用ブラケットの取り付け

▼ハンドルバーのメーターを固定したい場所に⑧ラバーバンドを巻きつけて、④⑤のメーター固定用ブラケット（上下）の矢印の向きを合わせてハンドルバーに挟み、矢印の指している方から先に⑥ブラケット用ボルトと⑦スプリングワッシャーで固定します。固定場所にあわせてレンチやプラスドライバーを使用してブラケットが回らないように固定してください。純正メーターまわりの見やすい位置に取り付けてください。【図 7,8】
▼ブラケットの位置が決まったら、各配線の取り付けが完了するまで①メーター本体を④メーター固定用ブラケット（上）に仮留めしてください。

※上記はφ22.2 ハンドル車に取り付けるための説明文となります。φ25.4 ハンドル車に取り付ける場合には⑧ラバーバンドを使用しないで取り付けてください。

【図7】

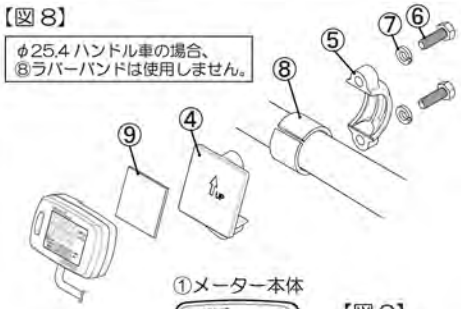


①メーター本体の取り付け

▼ブラケットの位置が決まったら、⑨両面テープを使用して①メーター本体を④メーター固定用ブラケット（上）に固定します。固定したら①メーター本体と②電源ハーネスの３極コネクタを接続し、配線が車体等に干渉しないように配線の位置を確認します。【図 8,9】

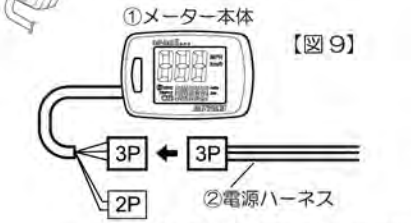
【図8】

φ25.4 ハンドル車の場合、⑧ラバーバンドは使用しません。



▼配線の取り回しが走行に支障ないか確認します。
車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定してください。

【図9】



D1400-SPD-JP-003 2013/10/29

■各種初期設定■

⚠注意

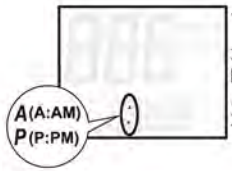
●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動させたり、タイヤを回したりする作業がございます。各種設定はセンタースタンド、またはレーシングスタンドを使用して十分に安全確認を行ってから行ってください。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行ってください。●設定中はエンジンに走行風が当たらないため、エンジンにかなりの負担がかかります。エンジンに負担をかけないよう短時間で作業を終えるか、エンジンを冷却しながら作業を行ってください。

ボタン操作の説明

操作ボタンのアイコン表示

1click ＝１回押します（１秒以内）

2sec ＝２秒 長押しします



12H 時計表示について

本商品の時計表示は１２時間表示になります。AM、PMの表示は左図の場所になります。

初期設定前の準備

●純正スピードメーターが電気式の場合やメータギアがエンジンに装着されている場合、⑩磁気検出式スピードセンサーをリアタイヤに装着している場合は、車体をセンタースタンドまたはレーシングスタンドを使用してリアタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。）
●純正スピードメーターが機械式で、フロントタイヤからメーターギア変換アダプター（別売）等を利用している場合や⑩磁気検出式スピードセンサーをフロントタイヤに装着している場合には、フロントスタンドを使用してフロントタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。）、
●スタンド等でタイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤを１０回転程回せるぐらい移動できる広い場所で作業を行ってください。

ワンポイント 時計設定～単位表示切替～パルス設定（オート）～パルス設定（マニュアル）～表示更新速度切り替えまでの登録は一連の流れになります。
作業を開始する前に、事前に下記項目を一読しておくと設定がスムーズに行えます。

通常時のモード切替

●電源投入時に表示される画面で、操作ボタンを１回（１秒以内）押すごとに表示ステータスが切り替わります。
※画面に表示が出ないときには２ページ、３ページの配線図や取付方法をご確認ください。

スピード表示＆トリップメーター1

スピード表示部に現在の速度と、ステータス表示部にトリップメーター１を表示します。
（アイコン表示 “TRIP1”）

トリップメーター１をリセットするには操作ボタンを２秒 長押ししします

2秒 長押し

トリップメーター１の表示が” 0.0” に戻ります。

1click

１回押し（１秒以内）

スピード表示＆トリップメーター2

スピード表示部に現在の速度と、ステータス表示部にトリップメーター２を表示します。
（アイコン表示 “TRIP2”）

トリップメーター１をリセットするには操作ボタンを２秒 長押ししします

2秒 長押し

トリップメーター１の表示が” 0.0” に戻ります。

1click

１回押し（１秒以内）

速度表示＆オドメーター

スピード表示部に現在の速度と、ステータス表示部にオドメーターを表示します。
（アイコン表示 “ODO”）

※オドメーターはリセットできません。
（工場出荷時の検査上、未使用時でもオドメーターが加算されている場合があります。）

1click

１回押し（１秒以内）

速度表示＆時計

スピード表示部に現在の速度と、ステータス表示部に現在の時刻を表示します。
（A→AM, P→PM）

※イグニションキーがOFFになっていても、操作ボタンを１回押すことにより約15秒間、時計を表示することが出来ます。
（※バックライトは点灯しません）

1click

１回押し（１秒以内）

速度表示＆最高速度

スピード表示部に現在の速度と、ステータス表示部に最高速度を表示します。
（アイコン表示”MAX”）

最高速度をリセットするには操作ボタンを２秒 長押しします。

2秒 長押し

最高速度の表示が” 0” に戻ります。

1click

１回押し（１秒以内）

各種初期設定登録

このモード中に設定ボタンを長押し（２秒）することで各項目の初期設定をすることができます。
（アイコン表示 ”Ⓢ SEt”）

初期設定登録をするためにはこのモード時に操作ボタンを２秒 長押ししします。

2秒 長押し

初期設定登録の最初の項目である時計の設定にうつります。

初期設定登録の説明は次ページへ

1click

１回押し（１秒以内）

D1400-SPD-JP-004 2013/10/29

■各種設初期定■　～続き1

初期設定の登録

●通常時のモード切替から各種初期設定登録のモードを選び、時刻、スピードパルス設定、表示更新速度の登録を行います。

各種初期設定登録のモード時に操作ボタンを2秒長押しして時計の設定に移ります。

初期設定登録をするためにはこのモード時に操作ボタンを2秒 長押しします。

2秒 長押し

初期設定登録の最初の項目である時計の設定にうつります。

時計の設定

時計の設定をします。スピード表示部に“CLO”と表示され、ステータス表示部に12：00（工場出荷時）が表示されます。

1click　1回押し

操作ボタンを2秒長押しすると”時”設定に入ります。

2秒 長押し

操作ボタンを数回押して”時”を合わせます。時間を進めることでAM、PMも切り替わります。
操作ボタンを2秒長押しすると”分”設定に入ります。

2秒 長押し

操作ボタンを数回押して”分”を合わせます。操作ボタンを2秒長押しすると次のスピード表示切替に移ります。

2秒 長押し

スピード表示切替

km/hとMPHの切替をします。スピード表示部に“Unt”、”km/h”と表示され、ステータス表示部にkm(工場出荷時）が表示されます。

1click　1回押し

操作ボタンを2秒長押しすると切替設定に入ります。変更しない場合には操作ボタンを1回（1秒以内）押して次のパルス計測に移ります。

2秒 長押し

”MPH”と”km/h”が2秒間隔で交互に点滅しますので設定したい表示が点灯したときに操作ボタンを2秒長押しして決定します。
（2秒待たなくても操作ボタンを1回押すことで表示は切り替わります。）決定した時点で次のパルス計測に移ります。

2秒 長押し

パルス計測（オートカウント）

ホイール1回転で発生するスピードパルス数を計測します。スピード表示部に“AUt”と表示され、ステータス表示部に”0”が表示されます。

1click　1回押し

操作ボタンを2秒長押しするとパルス計測設定に入ります。

2秒 長押し

2秒長押し後、”0”が点滅してスピードパルスの信号を受け付ける状態となります。
スピードセンサーが付いている方のタイヤ（電気式スピードメーター取付車ではリアタイヤ、フロントタイヤからメーターギア変換アダプターを使用している場合にはフロントタイヤ）を正確に10回転回してその時に表示されている数値を読み取り数値を控えます。
（タイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤの一部に印を付けてタイヤが10回転回る距離だけ車両を動かしてください。）

パルス数値（10回転）

①［　　］

（参考例：パルス10回転=98）

数字が変化しない場合には③スピードセンサーハーネスの接続を確認してください。
表示を確認したら2秒長押しをして次の距離入力へ移ります。

2秒 長押し

距離入力（マニュアル入力）

パルス間の距離を計算し、メーター本体に登録します。スピード表示部に“Clr”と表示され、ステータス表示部に数値が表示されます。（この数字は記録の必要はありません）

1click　1回押し

▼距離入力前に、入力するための数値を計算します。

▼スピードセンサーが付いている方のタイヤの外周をメジャー等で測り数値を控えます。

タイヤ外周寸法

②［　　］mm

（参考例：
タイヤ外周寸法=1200mm）

▼パルス測定で控えた①パルス数値（10回転）を10で割り、1回転分のパルス数値を算出します。

パルス数値（1回転）

③［　　］

（計算例
パルス数値（10回転）=98
98 ÷ 10 = 9.8　）

▼②タイヤ外周寸法を③パルス数値（1回転）で割り、パルス間の距離を算出します。

入力数値（パルス距離）

④［　　］

（計算例
②タイヤ外形寸法=1200
③パルス数値（1回転）=9.8
1200 ÷ 9.8 =122.44
※計算して出た数字の小数点は切り上げてください。
122.44 → 123
計算例では
④入力数値=123
になります。　）

④入力数値（パルス距離）が算出できたら、操作ボタンを2秒長押しして距離入力設定に入ります。

2秒 長押し

1click　1回押し

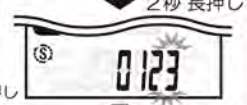
4桁の数字が表示されていますので算出した④入力数値を設定します。
4桁の数字の内、点滅している桁を操作ボタンを数回押して数字を合わせます。（始めは”千”の桁）押すごとに数字が1,2,3･･･と上がり、9までいくと0に戻ります。

2秒 長押し

2秒長押しすると桁が切り替わりますので、”百”、”十”、”一”の桁を入力してください。
※桁を戻ることはできません。
間違えた場合には初期設定の始めからやり直してください。

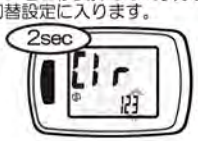
2秒 長押し

2秒 長押し



2秒 長押し

”一”の桁まで入力できたら、操作ボタンを2秒長押しして表示更新速度切替設定に入ります。



2秒 長押し

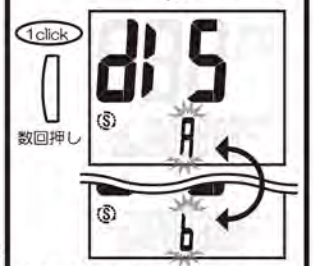
表示更新速度切替

液晶表示の更新速度を2段階で切り替えます。（A=0.16秒、b=0.5秒）スピード表示部に“dIS”と表示され、ステータス表示部にA（工場出荷時）が表示されます。

1click　1回押し

操作ボタンを2秒長押しすると更新速度切替設定に入ります。変更しない場合には操作ボタンを1回（1秒以内）押すと初期設定登録を終了します。

2秒 長押し



”A”と”b”が2秒間隔で交互に点滅しますので設定したい表示が点灯したときに操作ボタンを2秒長押しして決定します。
（2秒待たなくても操作ボタンを1回押すことで表示は切り替わります。）決定した時点で次のパルス計測に移ります。

（A=0.16秒、b=0.5秒 更新）
※画面がチラついて見にくい場合には”b”に設定してください。

2秒 長押し

ここまでで登録は完了です。操作ボタンを2秒長押し後は初期設定登録を終了し、通常時のモード切替に戻ります。

■トラブルシューティング■

・本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。	②電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。茶色の線に 12V(アクセサリー電源)、黒線にアース(バッテリーのマイナス端子か、ボディアース）が供給されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

・イグニションキーを OFF にしても表示が電源が落ちない。

初期設定登録のモードに入っている。	初期設定の登録を行っている際には、イグニションキーをOFFにしても表示が消えません。初期設定の登録を終了して、通常表示に戻してからイグニションキーをOFFしてください。

・初期設定の登録でパルス計測（オートカウント）が出来ない。（数字を表示しない）

スピードメーター信号が入力できていない可能性があります。	③スピードセンサーハーネスがしっかりと接続されているか確認してください。 別売のメーターギア変換アダプター（品番：61128）を使用している場合には、メーターギア変換アダプターの電源がうまく取れていない可能性があります。取り付け方法の"●純正スピードメーターが機械式の場合"の図３を確認して再度接続をしてください。 ⑩磁気検出式スピードセンサーと⑪マグネットボルトを使用している場合には⑩磁気検出式スピードセンサーがしっかりと⑪マグネットボルトを認識できていない可能性があります。取り付け方法の"●上記接続方法でスピードが認識できない場合"のセンサーの作動条件（図4、図5）を確認して再度取付を行ってください。 車両により、純正のスピードメーターを外すことによって車速センサーへの電源供給が絶たれてしまう場合があります。その場合には車体の車速センサーの電源を別途配線していただく必要があります。

・走行中、スピード表示が安定しない。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。	フラグコードやイグニッションコイル等のノイズによりスピードメーター信号がうまく読み取れていない可能性があります。プラグコードやイグニションコイル付近を避けて配線を取り回してください。プラグコードやイグニションコイル付近から配線を離せない場合には、配線をアルミテープ等で巻くなどしてノイズ対策を行ってください。

・走行中、表示速度が実際の速度と違う。

保安基準「速度計の技術基準」の規定上、計算の中で実際の速度より速く表示するように設定していますので実際の速度と同じか、それ以上の表示となります。 ※初期設定の登録時、パルス計測値や距離入力値に誤差があった場合には、表示がずれる場合があります。	純正で電気式スピードメーターを採用している車両では、純正スピードメーターと NANOⅡスピードメーターを同時に取り付けることが出来ます。この際、液晶表示に誤差があった場合には、任意で誤差を調整することが出来ます。 純正スピードメーターの速度よりも NANOⅡスピードメーターの表示速度が遅かった場合には初期設定の登録”距離入力”の数字を上げてください。 （速度が 10% ほど違っていたら、入力値を 10% 多く入力してください。） 例　元の入力値＝100 だった場合→110 を入力（１０%アップ）

・その他

液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる。	直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶が黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより改善します。
機械式スピードメーター車に装着した場合、NANOⅡギアポジションインジケーターとの同時装着は出来ません。	機械式スピードメーターケーブルを電気式に変換するアダプター等で接続した場合、NANOⅡギアポジションインジケーターを装着することにより、スピードメーター信号がうまく入力できなくなるためギアポジションの登録が正常に行えません。（※NANOⅡギアポジションインジケーターは機械式スピードメーターを採用している車両に対応していません。）
オドメーターの変更が出来ない。	オドメーターを現在の走行距離に合わせたり、リセットすることは出来ません。リセットできるのはトリップメーター１、２とＭＡＸ速度表示のみとなります。

東証JASDAQ上場 株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮4805　0120-60-4955

D1400-SPD-JP-006 2013/10/29